

一般社団法人 北海道国際交流センター
(函館市)

提供された食品と池田専務理事



HIFのスタッフの皆さん

【組織の概要】

- 団体名: 一般社団法人 北海道国際交流センター
- 所在地: 函館市元町
- 代表者: 専務理事 池田 誠
- 活動人数: 15名
- 活動開始時期: 2019年
- HP: <http://www.hif.or.jp/>
- 北海道フードバンクネットワーク加盟
- 取扱品: 加工食品(常温・冷蔵・冷凍)、農産物、学用品や衣料等
- 提供の条件: 賞味期限が切れていない食品

◇【団体発足の経緯】

- ◆ これまで、国際的な途上国支援、生活困窮者支援を行っており、2016年11月から「にこにこ子ども食堂」を開設し、国内の生活困窮者世帯の子供の支援・食育をテーマに取り組んできた。
- ◆ こども食堂のシンポジウムを開催した際に、全国食支援協力会から食品が届けられたことがきっかけとなり、現在のフードバンク活動に繋がっている。

◇【活動の概要】

- ◆ 食品は、全国食支援活動協力会を通じた、企業等から配送で受け取っている。
- ◆ 函館市、北斗市、七飯町のこども食堂のスタッフに直接食品の引き取りを行ってもらっている。

【取組む際に生じた課題】

- ◆ 食品の保管する場所が狭いため、倉庫を無償で貸してくれる企業もあり、大変助かっているが、団体専用のフォークリフトを所有していないため、食品の積み下ろしに手間と時間を要する。
- ◆ 函館に集められた食品を道央・道北・道東の拠点にどう届けるか、拠点から地域のこども食堂等へどう届けるか、物流のネットワークが課題となっている。

北海道国際交流センターの食品取扱いのフロー図



【今後の展望】

- ◆ 北海道の生活困窮者支援に関わる企業、行政機関、こども食堂、フードバンク団体等の情報を冊子やWebページに掲載し、生活困窮者の相談窓口や、提供する意思のある企業を紹介する仕組みを作りたい。
- ◆ トラックにキッチンを搭載した移動式こども食堂を作り、各地で支援を行いたい。
- ◆ 北海道は一大食料生産地なので、食料品が集まる要素がある。提供された農産物・加工品を道内外に届けられることができる物流のネットワークを構築したい。